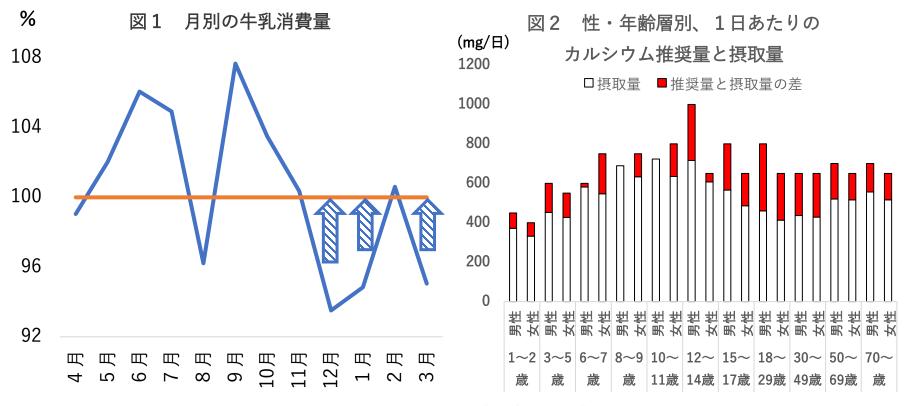
- **冬から春にかけ**、気温が低いことや年末年始の旅行・帰省、長期休暇中は学校給食がないことなどにより、**牛乳の摂取量が少なくなる傾向**(毎月コップ1杯(200ml:カルシウム227mg)程度)。
- このため、**牛乳の安定的な生産・供給を維持**するためにも、農林水産省は**牛乳の摂取を推奨**してまいります。
- なお、日本人は**カルシウムが不足しがち**であり、寒い冬の時期にもカルシウム豊富な**牛乳をあたたか い料理から安定的に摂取していただきたい**と考えています。
- 今冬も、農林水産省や酪農・乳業業界をはじめとする**牛乳でスマイルプロジェクトのメンバーは、牛乳を通じた健康的な食生活をサポート**してまいります。

日本は火山国のため土壌が酸性で、ミネラルの含有量が欧米の半分程度といわれており、水やそこで育つ野菜に含まれるカルシウムの量も少な しい。このため、カルシウムは毎日の食事で意識的にとらないとすぐに不足する。出典:(一社)Jミルク「カルシウム学」



出典:牛乳乳製品統計を基に牛乳乳製品課作成

出典:(一社)Jミルク『牛乳乳製品の知識 改訂版』を基に牛乳乳製品課作成